

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
議 1 年	1 学 期	○Get Ready 小学校で学んだことを確認しよう ○PROGRAM 1 友達を作ろう ○PROGRAM 2 I—Bの生徒たち ○PROGRAM 3 タレントショーを開こう	・小学校で習った表現を使ったり、単語を読んだり、書き写したりすることができる。 ・自分や相手のことを伝え合うことができる。 ・自分や相手がすることを伝え合うことができる。 ・できることやできないことを伝え合うことができる。
	2 学 期	○PROGRAM 4 Let's Enjoy Japanese Food. ○PROGRAM 5 Pajama Day ○PROGRAM 6 The Way to School ○PROGRAM 7 Research on Australia	・自分や相手以外の人やものについて伝え合うことができる。 ・自分や相手以外の人やものがすることについて伝え合うことができる。 ・人やものについて伝えたり、理由をたずねたりすることができる。 ・「～がある」と伝えたり、手段・方法をたずねたりすることができる。
	3 学 期	○PROGRAM 8 Happy New Year! ○PROGRAM 9 A Trip to Finland ○PROGRAM 10 Grandma Baba's Warming Ideas!	・今していることを伝えることができる。 ・過去にしたことを伝えることができる。 ・過去の様子などについて伝えることができる。
評価の観点・評価方法			
①授業に意欲的に取り組んでいる。 ②授業中の本文読みやコミュニケーション活動の様子 ③ノート・ワークなどの提出物 ④定期テスト ⑤単語テスト・インタビューテスト・聞き取りテスト ⑥スピーチ・暗唱・作文			

令和7年度 香芝東中学校 1年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
技術・家庭 1年	前期	◎ガイダンス ○技術分野の学習を始めよう ◎材料と加工 ○材料と加工法 ○製作品の設計・制作 ○材料と加工の技術の活用	●技術の発展の歴史、生活の中の技術、社会の中の技術、環境問題、エネルギー問題、日本の技術などを題材にして、技術を学ぶことの大切さを理解する。 ●キャビネット図、等角図、第三角法で図形がかけれる。 ●木取りやけがきがでる。 ●使用する道具や機械の特徴と加工の原理がわかり、使用することができる。
	後期	○ガイダンス ○衣生活 ○布を用いた物の製作 ○持続可能な社会を目指す ○私たちの成長と家族・地域	●周りの人とともに気持ちよく暮らせるように、食・衣・住・消費生活と環境などについての知識・技能・実践する力を身につける。 ●衣服の適切な選択や着用、日常着の手入れを身に着ける。 ●日本の衣文化を理解し、継承する大切さに気づく。 ●布製品の製作を通して、製作に関する知識や技能を習得する。 ●資源や環境に配慮して、生活を豊かにする工夫をする。 ●家族・家庭生活での自立を目指す。 ●幼児の生活と家族とのかかわり方を考える。 ●これからの持続可能な家庭・地域生活について考える。
	評価の観点・評価方法		
		①授業にまじめに取り組んでいる。 ②ノート、プリントをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやって、期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤作品の製作に着実に取り組み、最後まで丁寧に仕上げる。	

令和7年度 香芝東中学校 1年生 シラバス

生徒のようすや学習の状況などに応じて、進度や内容を変更して実施することがあります。

	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
1 学 期	◇朝のリレー ◇野原はうたう ◇はじまりの風 ◇音声の仕組みや働き ◇漢字の組み立てと部首 ◇ダイコンは大きな根？ ◇文法 ◇指示する語句と接続する語句 ◇ちょっと立ち止まって ◇空の詩 三編、様々な表現技法 ◇書道(毛筆)、書体について	●詩を朗読し、詩の描く世界を理解する。 ●表現や構成の工夫と効果について理解する。 ●意味や用法を理解する。 ●文章と図表などを結びつけて、筆者の考えを捉える。 ●言葉の単位、文中での成分、役割を理解する。 ●構成に着目し、要旨を捉える。 ●詩の表現技法と効果を理解する。 ●様々な書体の特徴を捉える。
2 学 期	◇大人になれなかった弟たちに… ◇星の花が降るころに ◇「言葉」をもつ鳥、シジウカラ ◇大阿蘇 ◇漢字の音訓 ◇漢字の成り立ち ◇いろは歌、竹取物語・今に生きる言葉・漢文 ◇「不便」の価値を見つめ直す ◇文法	●場面ごとの描写に着目して心情を捉える。 ●登場人物の心情の変化を捉える。 ●根拠の述べ方とその効果について考える。 ●詩の朗読を通し、詩の描く世界を知る。 ●音訓の正しい使い分けを身につける。 ●成り立ちの種類を理解する。 ●古文を朗読し、古典のリズムを味わう。 ●漢文に対する知識を身につける。 ●筆者の考えを、要約しながら捉える。 ●自立語と付属語の特徴を理解する。
3 学 期	◇少年の日の思い出 ◇二十歳になった日 ◇幻の魚は生きていた ◇坊っちゃん ◇方言と共通語 ◇文法	●作品の構成・特徴を捉え、登場人物について考えを深める。 ●筆者の論の展開の仕方に着目する。 ●登場人物の言動を捉え、内容を理解する。 ●方言の特徴を理解する。 ●名詞について理解する。
評価の観点・評価方法		
① 授業に意欲的に取り組み、発表している。 ② ノート・提出物 ② 定期テスト ④ 課題テスト・小テスト ⑤ スピーチ・暗唱・作文・聞き取りテスト		

2025 年度 Ⅰ 年社会科 シラバス

	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
社会 Ⅰ 年	1 学期 地理的分野 ○世界の姿 ○日本の姿 ○世界のさまざまな地域 歴史的分野 ○歴史を捉える見方・考え方 ○人類の誕生と世界の古代文明 ○縄文時代・弥生時代・古墳時代	●世界の地域構成を知り、その位置や特徴を説明できる。 ●日本の位置や広がりの特徴を理解し、世界の国々との関わりを考える。 ●地形や気候などの地域の特徴を読み取り、伝統的な生活や宗教の違いを理解する。 ●時代や年代の読み取り方を理解し、歴史学習の基礎を身につける。 ●世界の古代文明や宗教がおこった地域の特徴をつかみ、その特色を理解する。 ●日本列島に住み始めた人々の生活や社会の成り立ちを理解する。
	2 学期 地理的分野 ○アジア州 ○ヨーロッパ州 ○アフリカ州 歴史的分野 ○飛鳥時代・奈良時代 ○平安時代	●アジア州における急速な経済成長の理由や地域に与える影響を考える。 ●ヨーロッパ州における地域統合による変化の様子を考える。 ●アフリカ州の産業や経済の実態から、各国がかかえる課題を考える。 ●律令国家となった日本における社会制度や生活・文化の発展を考える。 ●都の移り変わりやそれに伴う政治の変化を理解する。
	3 学期 地理的分野 ○北アメリカ州 ○南アメリカ州 ○オセアニア州 歴史的分野 ○鎌倉時代 ○室町時代 ○戦国時代	●北アメリカ州（特にアメリカ合衆国）の巨大な産業が世界の農業や工業におよぼす影響を考える。 ●南アメリカ州で進む開発と、環境問題の関わりについて考える。 ●オセアニア州の発展による、他の地域との結びつきの変化について考える。 ●武士の台頭から幕府が成立する過程を理解し、武士の支配による民衆の生活の変化について考える。 ●戦乱による社会制度の変化や、産業や文化の発達と特徴を理解する。
	評価の観点・評価方法	
	①授業に意欲的に取り組み、主体的に学びに参加する。 ②時事的な社会事象に関心を持ち、社会の課題や自分自身の生活に学びを生かそうとする態度を持つ。 ③ノート、ワーク、レポートなどの課題に積極的取り組み、期限を守って提出する。 ④定期テスト、課題テスト、小テストなど。	

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
数 学 1 年	1 学 期	1 章 正の数・負の数 1 節 正の数・負の数 2 節 加法と減法 3 節 乗法と除法 4 節 いろいろな計算 2 章 文字の式 1 節 文字と式 2 節 文字式の計算 3 節 文字式の利用	1 章 新しい数である負の数や、素数という新しい数の集合を扱い、考察の範囲が広がる。ここで数についての理解を深めさせるとともに、四則計算の習熟を進め、2章の文字の学習と合わせて数学の学習に必要な素地をつくる。また、具体的な場面で負の数を活用する機会を通して、問題解決に必要な基礎的な力を身につけさせる。 2 章 文字によって事象を表現する方法、文字と式を適切に計算する方法を身につけさせ、数学的に考察を行っていくための土台をつくる。
	2 学 期	3 章 1 次方程式 1 節 1 次方程式 2 節 1 次方程式の利用 4 章 比例と反比例 1 節 比例 2 節 反比例 3 節 比例と反比例の利用 5 章 平面図形 1 節 平面図形 2 節 作図 3 節 円	3 章 文字を使って方程式を作成し、等式の性質を使って方程式を解く方法を習得させる。最終的には、1 次方程式の知識と技能を使って、具体的な問題を解決することを目的とする。 4 章 ともなって変化する2つの数量の変化や対応の関係を式や表、グラフなどを通して調べることで、比例や反比例の関係を理解させる。また、日常生活の中から、比例や反比例の関係にある事象を見だし、それらの考察を進め問題を解決することができるようにする。 5 章 直線や角といった平面図形の基礎を理解することから始め、図形の位置を移動の概念によって考察したり、線分の垂直二等分線や角の二等分線、垂線などの基本的な作図のしかたを学習したりする。このことによって、平面図形の中に潜む性質を見だし、それらを利用した考察ができるようにする。
	3 学 期	6 章 空間図形 1 節 空間図形 2 節 立体の体積と表面積 7 章 データの活用 1 節 データの整理とその活用 2 節 確率	6 章 小学生での知識をもとにして、空間図形についての理解を深める。また、求積問題として、おうぎ形の弧の長さや面積、立体の体積や表面積を求める方法を学習する。特に角錐や円錐の体積の求め方や球の体積、表面積の求め方は中学校で初めて学習する内容であり、しっかりと身につけさせておきたい。 7 章 データを分析するために度数分布表やヒストグラムなどについて理解することは重要であるが、整理のしかたを身につけるだけでなく、収集したデータから傾向を読み取ることと不確定な事象について合理的な判断を下す力を養う。
評価の観点・評価方法			
①授業を真面目に受けている。(授業態度・発表等) ②提出物(ノート・ワーク等)をきちんとやって期限を守って提出している。 ③定期テスト ④課題テスト			

		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
美術 1年	1 学期	○オリエンテーション ○見つめると見えてくるもの (鉛筆について、身の回りにあるもののデッサン) ○絵具による学習 ① 色彩について (三原色、混色、色の3要素など) ② 様々な技法 (にじみ、ぼかし、平塗りなど) ○こころの空 (色彩と技法のまとめ)	●身近にあるものの形や質感、明暗、立体感などに着目し、よく観察して鉛筆で立体的に表す。 ●色の基礎知識と感情効果について理解し、身近な事象をもとにイメージや表し方を広げる。 ●絵具による色の仕組みや多様な描き方について理解し、意図に応じて表現の工夫することができる。 ●色の基礎知識と感情効果について理解し、身近な事象をもとにイメージや表し方を広げる。 ●主題を基に発想を広げ、印象に残ったことや感じたことを表現し、豊かに創造する力を身に着ける。
	2 学期	○レタリング ○文字デザインの鑑賞 ○分かりやすく伝えるための絵文字のデザイン	●文字の基礎的な形の特徴を理解することができる。 ●表現したい意図に合うように、文字の形や色の構想を練る ●形や色をイメージしながら、表し方を工夫する。
	3 学期	○連続模様 ○マイワールド(BOX アート制作) ○器のデザイン	●自然物や人工物などの形や色彩の特徴に着目し、彫刻刀の扱い方を工夫して表す。 ●身の回りにあるものの特徴から単純化したり、連続模様にするための構成を創造的に考えている。 ●主題を基に、箱の空間を生かしたモチーフの配置や見せ方などを工夫し、多様な材料を使って意図に応じて豊かに表現の工夫をする。 ●使う場面や使う人を考え、形や色をイメージして表現をする。
	評価の観点・評価方法		
		① 授業への関心、意欲、主体的に学習に取り組む態度 ② 作品の完成と提出 ③ 期末テスト ④ 作品の発想、構想 ⑤ 作品制作の技能 ⑥ 美術作品の鑑賞	

令和7年度 香芝東中学校 1年生 保健体育シラバス

	学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
保健体育	1学期 ○集団行動・体づくり運動 基本姿勢・整列・方向転換 開列・列の増減・補強運動 ○スポーツテスト ○陸上 短距離走(50m走) 走り幅跳び・走り高跳び ○水泳(男女共通) ○保健1章 健康な生活と病気の予防	●集団行動の基本的な動作を身につける。 ●学校や社会のきまりを守り互いに協力し合う態度を養う。 ●記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わう。 ●基本的な動きや効率のよい動きを身に付けることができるようにする。 ●分担した役割を果たそうとする態度を養う。 ●競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方を学ぶ。 ●関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫する。 ●基本的な泳法を身につけ、陸上の運動では養えない体力、運動能力を養う。 ●健康は、主体と環境の相互作用の下に成り立っていることを理解する。 ●健康の保持増進には、食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを学ぶ。 ●健康の保持増進をするために、正しい判断、行動ができるようにする。 ●発育・発達の時期やその程度には個人差があることを理解する。 ●思春期に伴う体の変化に対応した適切な行動を養う。
	2学期 ○体育大会練習 集合・整列・行進・ラジオ体操 ○柔道 ○器械運動(マット運動) ○保健2章 心身の機能の発達と心の健康	●集合隊形、体操隊形への移動、行進を周りの動きとそろえられるようにする。また、ラジオ体操第二では、運動の順番を覚え正確な体操を行う。 ●日本の伝統的な所作や、礼儀、相手を尊重する態度や公平さを身につける。 ●正しい受け身のとりかた、技のかけ方を学び、仲間と勝負する楽しさを味わう。 ●様々な技に積極的に挑戦し、習得する。 ●仲間と助け合い、安全に留意して練習する態度を養う。 ●発育・発達の時期やその程度には個人差があることを理解する。 ●思春期に伴う体の変化に対応した適切な行動を養う。 ●思春期の男女の生殖機能がどのように発達するか正しい知識を身につける。
	3学期 ○長距離走 男子 ○サッカー 女子 ○バスケットボール 保健2章 心身の機能の発達と心の健康	●体力向上とともに、距離に応じた自分のペースを見つけ、目標タイムを目指して走りきる態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。 ●パス、ドリブル、シュートなどの基本的な技術の習得を行い、簡単なゲームで使うことができる。 ●仲間と協力しながら練習やゲームに取り組む態度を養う。 ●心の働きと発達の仕方を学び、年齢に伴う人との関わり方の変化について理解する。また、心と体の関係性を理解し、心の健康に与える影響やその対処方法について学ぶ。
評価の観点・評価方法		
①授業に真面目に取り組んでいるか。(態度・発言)見学者は、授業中見学レポートを書く。 ②みんなで協力しているか。 ③ノートをきちんととれているか。 ④提出物(ワーク・プリント)をきちんと記入し、期限を守り提出しているか。 ⑤技能テスト ⑥定期テスト		

程 1 年		学習内容	学習のねらい・身につけてほしい力
	1 期	○植物の特徴と分類 ○動物の特徴と分類 ○いろいろな物質とその性質	●植物の体の基本的なつくり理解する。植物の分類について理解する。 植物を観察する力を身につける。 ●動物の体の基本的なつくり理解する。動物の分類について理解する。 動物を観察する力身につける。 ●物質の性質を理解する。実験器具の操作、記録のしかたを身につける。
	2 期	○いろいろな気体とその性質 ○水溶液の性質 ○物質のすがたとその変化 ○光による現象 ○音による現象 ○力による現象	●気体の種類による特性を理解する。機体の発生方法、捕集法を身につける。 ●水溶液の均一性を理解する。溶解度について理解する。 ●状態変化について理解する。物質の分離方法について理解する。 ●光の反射や屈折の規則性を見いだす。凸レンズのはたらきについて理解する。 ●音が発生するしくみや伝わり方、音の大小・高低について理解する。 ●力のはたらきについて理解する。力の表し方、2力のつり合いについて理解する。
	3 期	○身近な大地 ○ゆれる大地 ○火をふく大地 ○語る大地	●大地の成り立ちなどを理解する。観察器具の基本的な扱い方などを身につける。 ●地震の揺れの伝わり方の規則性をみいだす。自身の原因を理解する。 ●火成岩の特徴を、成因と関連づけて理解する。 ●地層の出来方路理解する。大地からの恵みや災害について理解する。
	評価の観点・評価方法		
		①授業にまじめに取り組んでいる。(発言、態度、積極性、忘れ物など) ②ノートをきちんととっている。 ③提出物をきちんとやって期限を守って提出している。 ④定期テスト ⑤課題テスト・小テスト・プリント ⑥実験・観察レポート	